

## 平成30年第1回広域紋別病院企業団議会定例会会議録（第1日）

### 1 開会日時

平成30年3月23日（金）

開会 午前10時00分

### 2 議事日程

日程第1 会期の決定

日程第2 報告第1号 定期監査報告について

日程第3 議案第1号 平成29年度広域紋別病院企業団病院事業会計補正予算（第3号）

日程第4 議案第2号 平成30年度広域紋別病院企業団病院事業会計予算

日程第5 議案第3号 広域紋別病院企業団企業長の給与及び旅費に関する条例の一部改正について

日程第6 議案第4号 広域紋別病院企業団企業長の退職手当に関する条例の一部改正について

日程第7 議案第5号 広域紋別病院企業団職員の退職手当に関する条例の一部改正について

### 3 出席議員（10名）

議長	石田久就君	副議長	矢野幸三君
2番	青木邦雄君	3番	柴田央君
4番	宮川正己君	5番	山中憲一君
6番	阿部秀明君	7番	森田寛君
9番	田村高志君	10番	村上伸夫君

### 4 欠席議員（なし）

### 5 説明員

企業長	千賀孝治君	院長	及川郁雄君
事務局 兼事務部長	牧野昌教君	事務局次長	稲葉宏剛君
総務課長	西田尚市君	医事課長	大屋洋一君
事務部参事	大野貴光君	建設整備室主幹	森谷裕一君
総務係長	加藤具哉君	職員係長	櫻庭あゆみ君
経営管理係長	泉康一君	経営管理係主査	平塚健次君
医事係長	西塔信弥君	建設整備室主査	鈴木光彦君
監査委員	斉藤博哉君	書記	高橋博明君

### 6 議会出席職員

書記長	吉野久寿君	書記	浜屋武志君
書記	渡辺幸路君	書記	大澤諒馬君

午前10時0分 開会

○議長（石田久就君） ただいまより本日をもって招集されました平成30年第1回広域紋別病院企業団議会定例会を開会いたします。

本日の出席議員数はただいまのところ10名であります。よって、開議の定足数に達しましたので、これより会議を開きます。

本日の会議録署名議員には、4番宮川正己君、9番田村高志君の両君を指名いたします。

ここで諸般の報告を申し上げます。

渡辺書記。

○書記（渡辺幸路君） ご報告を申し上げます。

まず、本日の配付文書でございますが、本定例会議事日程、説明員等報告を配付してございます。

次に、本日の議事日程ですが、日程第1から第7までとなっております。

以上で報告を終わります。

○議長（石田久就君） これより本日の議事に入ります。

日程第1、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

本定例会の会期は本日1日間といたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

ご異議なしと認めます。よって、会期は本日1日間と決定いたしました。

日程第2、報告第1号を議題といたします。

本報告は監査委員からの報告であります。

質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑を終結いたします。

以上で報告を終わります。

日程第3、議案第1号を議題といたします。

本案について提出者の説明を求めます。

千賀企業長。

○企業長（千賀孝治君） ただいま上程されました議案第1号平成29年度広域紋別病院企業団病院事業会計補正予算（第3号）につきまして提案理由のご説明を申し上げます。

本案は、予算第3条で定める収益的収入及び支出において、院長の勸奨退職等による退職給与金などの予算補正を行おうとするものであり、既決予定額35億9,468万9,000円に837万8,000円を追加し、収入及び支出の総額をそれぞれ36億306万7,000円にしようとするものであります。

また、予算第4条で定める資本的収入において、看護師公宅建設用地の取得費用等に係る企業債等の追加のため予算補正を行おうとするものであり、既決収入予定額1億145万3,000円に510万円を追加し、収入の総額を1億655万3,000円にしようとするものであります。

なお、予算第4条本文括弧書きの中の資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額2億1,087万2,000円を2億577万2,000円に、過年度分損益勘定留保資金1億8,658万1,000円を1億8,148万1,000円にそれぞれ改

め、収支の均衡を図ったものであります。

以上で提案理由のご説明を終わりますが、詳細につきましては、担当の事務局長よりご説明をさせていただきます。

○議長（石田久就君） 牧野事務局長。

○事務局長兼事務部長（牧野昌教君） それでは、議案第1号平成29年度広域紋別病院企業団病院事業会計補正予算（第3号）につきましてご説明申し上げます。

初めに、平成29年度広域紋別病院企業団病院事業会計補正予算実施計画につきましてご説明申し上げますので、実施計画のページをお開き願います。

既決予算第3条で定めた収益的収入及び支出において、既決予定額に837万8,000円を追加し、収入及び支出の総額をそれぞれ36億306万7,000円にしようとするもので、収入において、2項医業外収益837万8,000円を追加し15億1,535万3,000円にしようとするもので、3目補助金同額の追加は基金収入補助金の増であります。

また、支出において、1項医業費用819万4,000円を追加し35億589万3,000円にしようとするもので、1目給与費同額の追加は院長の勸奨退職等による退職給与金の増であります。

次に、2項医業外費用18万4,000円を追加し7,617万2,000円にしようとするもので、4目消費税及び地方消費税同額の追加は課税売上げが増えたことによる納付消費税額の増であります。

次に、既決予算第4条で定めた資本的収入において、既決予定額に510万円を追加し、収入の総額を1億655万3,000円にしようとするもので、1項企業債260万円を追加し2,540万円にしようとするもので、1目同額の追加は病院事業債の増であります。

次に、2項他会計負担金175万円を追加し7,356万1,000円にしようとするもので、1目同額の追加は紋別市負担金の増であります。

次に、3項他会計借入金75万円を追加し759万円にしようとするもので、1目同額の追加は紋別市借入金の増であります。

ここで議案第1号第4条にお戻り願います。

第4条では、既決予算第5条で定めた債務負担行為の追加、廃止、変更を、第5条では、既決予算第6条で定めた企業債の追加、変更を、第6条では、既決予算第8条で定めた議会の議決を経なければ流用することのできない経費を、第7条では、既決予算第9条で定めた補助金等の金額を、それぞれ補正しようとするものであります。

以上でご説明を終わりますので、ご審議いただきますようよろしくお願い申し上げます。

○議長（石田久就君） 質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑を終結いたします。

採決いたします。

議案第1号は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

ご異議なしと認めます。よって、議案第1号は原案のとおり可決されました。

日程第4、議案第2号を議題といたします。

本案について提出者の説明を求めます。

千賀企業長。

○企業長（千賀孝治君） ただいま上程されました議案第2号平成30年度広域紋別病院企業団病院事業会計予算につきまして提案理由のご説明を申し上げます。

本案は、条文形式予算第3条の収益的支出予定額は35億266万1,000円を計上し、これに対応する財源は医業収益及び医業外収益等で措置し、予算第4条の資本的支出予定額は5億7,302万9,000円を計上し、これに対応する財源は企業債及び他会計負担金等を充てますが、不足額については当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、並びに当年度分及び過年度分損益勘定留保資金で措置しようとするものであります。

以上で提案理由のご説明を終わりますが、詳細の内容につきましては担当の事務局長よりご説明をさせていただきます。

○議長（石田久就君） 牧野事務局長。

○事務局長兼事務部長（牧野昌教君） それでは、議案第2号平成30年度広域紋別病院企業団病院事業会計予算につきましてご説明申し上げます。

議案第2号の病院事業会計予算をお開き願います。

初めに、第2条の業務の予定量であります。病床数150床に対し、年間患者数は入院で2万4,975人、外来で9万229人を予定し、1日平均患者数は入院で68人、外来で370人を予定しております。また、主な建設改良事業は、看護師公宅建設に係る建設改良費及び医療機器購入などの資産購入費であります。

次のページをお開き願います。

第5条の債務負担行為であります。新たな債務負担行為を設定するもので、事項、期間及び限度額については記載のとおりであります。

第6条から第10条につきましては、第3条予算及び第4条予算関連の議決事項であり、それぞれ予算に係る必要な事項を定めようとするものであります。

引き続き、お手元の予算説明書に基づき予算の実施計画をご説明いたしますので、予算説明書の3ページ目をお開き願います。

初めに、収益的収入及び支出であります。収入におきまして1款病院事業収益35億266万1,000円、1項医業収益20億8,969万円、1目入院収益9億1,614万1,000円で、内容は1日平均入院単価と入院患者数に基づく入院収益であります。

2目外来収益10億4,730万2,000円で、内容は1日平均外来単価と外来患者数に基づく外来収益であります。

3目その他医業収益1億2,624万7,000円で、内容は資産貸付収益及び普通交付税、特別交付税の紋別市負担金のほか、記載のとおりであります。

2項医業外収益13億9,516万9,000円、1目受取利息配当金567万6,000円で、内容は有価証券利息のほか、記載のとおりであります。

2目他会計負担金1億7,615万9,000円で、内容は構成市町村負担金のほか、本年度からの措置として、不採算部門の赤字に対する紋別市単独の負担金を増額しております。

3目補助金9億522万5,000円で、内容は基金収入補助金及び普通交付税等の構成市町村補助金のほか、記載のとおりであります。

4目患者外給食収益31万1,000円であります。

5目長期前受金戻入2億8,303万4,000円で、内容は償却資産に充当されている財源に係る減価償却費見合い分の収益化であります。

6目消費税及び地方消費税還付金1,000円は勘定科目の設定であります。

7目その他医業外収益2,476万3,000円で、内容は紋別市休日夜間急病センターからの病床バックアップ事業収入のほか、記載のとおりであります。

3項特別利益1,780万2,000円、1目固定資産売却益1,000円は勘定科目の設定であります。

2目過年度損益修正益1,780万円で、内容は過年度分診療報酬再請求等の修正益であります。

3目その他特別利益1,000円は勘定科目の設定であります。

次のページをお開き願います。

支出におきましては、1款病院事業費用35億266万1,000円、1項医業費用33億9,913万7,000円、1目給与費17億1,076万8,000円で、内容は企業団職員の給料、手当のほか記載のとおりであります。

2目材料費4億9,161万8,000円で、内容は薬品費のほか記載のとおりであります。

3目経費6億7,487万8,000円で、内容は委託料のほか記載のとおりであります。

4目減価償却費5億471万3,000円で、内容は建物減価償却費のほか記載のとおりであります。

5目資産減耗費557万3,000円で、内容はたな卸資産減耗費のほか記載のとおりであります。

6目研究研修費1,158万7,000円で、内容は医師等の研究研修旅費のほか記載のとおりであります。

次のページでございますが、2項医業外費用8,692万3,000円、1目支払利息及び企業債取扱諸費405万1,000円で、内容は企業債利息のほか記載のとおりであります。

2目企業団議会費142万円で、内容は議員報酬など企業団議会運営経費であります。

3目企業団監査委員費75万円で、内容は監査委員報酬など企業団監査執行経費であります。

4目消費税及び地方消費税193万3,000円あります。

5目長期前払消費税勘定償却2,013万9,000円で、内容は病院改築工事等で発生した控除対象外消費税に係る償却費であります。

6目その他医業外費用5,863万円で、内容は紋別市に支払う過疎対策事業債利息分の諸負担金及びたな卸資産の購入などに係る控除対象外消費税分の雑支出であります。

3項特別損失1,660万1,000円、1目固定資産売却損1,000円は勘定科目の設定であります。

2目過年度損益修正損1,300万円で、内容は過年度分診療報酬返戻等の修正損であります。

3目その他特別損失360万円は看護師等修学資金貸付金の返還免除の勤務期間に達したことによる免除費であります。

次のページをお開き願います。

資本的収入及び支出であります。収入におきましては、1款資本的収入3億148万1,000円、1項企業債1億370万円、1目企業債同額で、内容は病院事業債であります。

2項他会計負担金1億6,666万9,000円、1目他会計負担金同額で、内容は過疎対策事業債交付税措置分、及び建設改良事業に係る病院事業債元金償還金繰出基準の紋別市負担金であります。

3項他会計借入金3,111万円、1目他会計借入金同額で、内容は過疎対策事業債発行額のうち、交付税措置されない分の紋別市借入金であります。

4項固定資産売却代金、1目固定資産売却代金及び5項返還金、1目貸付金返還金いずれも1,000円は勘定科目の設定であります。

次に、支出におきましては、1款資本的支出5億7,302万9,000円、1項建設改良費2億1,069万7,000円、1目建設改良費1億7,700万9,000円で、内容は看護師公宅建設に係る工事請負費等であります。

2目固定資産購入費3,368万8,000円で、内容は医療機器更新に係る備品費等であります。

2項企業債償還金2億2,516万4,000円、1目企業債償還金同額で、内容は病院事業債の元金償還金であります。

3項長期借入金償還金9,709万2,000円、1目長期借入金償還金同額で、内容は紋別市借入金の元金償還金であります。

4項投資2,007万6,000円、1目貸付金1,440万円で、内容は看護師等修学資金貸付金であります。

2目基金567万6,000円で、内容は基金運用益の財政調整基金積立金であります。

5項予備費2,000万円、1目予備費同額であります。

以上、平成30年度広域紋別病院企業団病院事業会計予算のご説明を終わらせていただきますので、ご審議いただきますようよろしくお願い申し上げます。

○議長（石田久就君） 質疑を行います。

まず、収入支出のうち、支出について質疑を行います。

宮川正己君。

○4番（宮川正己君） 収入にかぶるところもあることはお許しをいただきたいと思いますが、そこどころということじゃなくて、平成28年度の収支決算を思い出してみますと、約9億6,000万円ぐらいの赤字だったのではないのかというふうに思っております。また、先日、今議会の予算説明に関連をいたしまして、平成29年度の決算見込みの説明をいただいたというところがございますけれども、ざっくり言って約9億5,000万円超の赤字が見込まれるということの報告でした。

そこで、お尋ねをいたしますが、毎年続く赤字の決算ということが続いておりますが、その原因は何であると分析されているのか、そして、認識されているのか、まずお知らせをいただきたいというふうな第1点目です。

2点目としては、それら認識に基づく対応というものが今年の収支予算案というか、当然必須の分野なんであろうかと思うんですけども、今年度予算の中でどのように取り組まれて改善されていくのかというようなことをお知らせいただければと思います。

○議長（石田久就君） 牧野事務局長。

○事務局長兼事務部長（牧野昌教君） お答えいたします。

まず、1点目でございます。赤字の原因でございますが、先ほどご説明したとおり、当院、施設の規模としては150床ほどの入院施設の病院でございます。ただ、常勤医が不足していること、そもそもそれに伴って不足している部分で、この30年度予算では68人ですか、こういった予算にならざるを得ないということで、どうしても施設の維持費等がなかなか収益として生まれてこないというような状況がまず1点でございます。さらに常勤医がいない医師の部分で、非常勤医師に来ていただいて週何回か外来のみの診療をしてもらっているところでございますが、これにつきましても入院がとれないというような、耳鼻科ですとか眼科ですとか、そういうお客さんがたくさんいる診療科なんですけど、どうしても入院は別な病院になってると

というようなことで、常勤医がいないというようなことで施設の稼働が十分じゃないということ。それと、もう一点が、病院が新しくなって維持費が非常に重荷となっているということでございます。この新しい病院を快適なまま維持していくためには、当初建設で予定していた部分以上に重荷になって、さらに先進的な医療機器も導入させていただいたとことでございますが、これらの保守経費というものにかなり多額な金額がかかっているということが現状でございます。

それで、2点目のご質問のほうに移らせていただきますが、まず我々のほうで早急にできることということで、そういった維持費を縮減するというのはもう平成30年度の予算から反映させていただいたところでございます。またMRIですとかCTとかといった大型の医療機器、こういったものの保守は年間3,900万円ほどかかっていたものでございますが、これをいろいろメーカー、代理店等と交渉しまして、1,000万円弱ですか、に引き下げることが可能となったこと、それから今までも入札は実施してはたんですけど、業者さんのほう新規で参入というのがなかなか積極的じゃなくて、1社随意契約みたいな入札が何件かあったものですから、こういった部分を旭川なり札幌なりの業者さんをお願いして、何とか入札に参加してもらおうというようなことを行いまして、給食業務では800万円程度安くなりましたし、ちょっと入札の時期が遅かったものですから予算に反映できませんでしたが、清掃ですとかそういった部分でも6,000万円以上の削減が図られたとことでございます。さらに、今まで委託でさまざまな業務、医師事務ですとか、医師と一緒に診療室に入って記録等を行う、医師事務のほうも民間の人材派遣会社に委託しておりましたが、ここもやはり人件費プラス消費税、さらに諸経費というような経費がかかっておりましたので、その部分を、消費税の分は確実に削減できるので、嘱託職員ということでこれを見直しを図ったりしながら500万円程度というようなことで、大体経費の見直しで今年度7,000万円程度の、平成30年度は図られるのではないかとということ。さらに、今度収入のほうでございますが、これは東京のコンサルティング会社にちょっと委託しまして、この病院の診療報酬がどのように適正に請求されてるかというのをコンピューターで診断するのがありまして、それで、診断してもらったところ、適正な請求ではございますが、もう一手間加えることによって同じ診療でもさらに多く請求できる可能性がありますよというのが何件かございますので、大体来年度これを2,000万円程度まで引き上げるような目標を立てて今進めているとことでございます。さらに、こうした病院が独自で努力している分につきまして、同額を紋別市のほうから補助金としていただくということで、平成30年度につきましても約1億円を補助金として繰り出してもらおうというようなことで予算を組んだところでございます。

そうしたことから、入り繰りはありますけど、平成30年度の実質的な赤字はこれでございます。基金の収支繰り入れですか、それは7億9,900万円程度ということで決算見込みに比べまして1億5,000万円ほど削減できたところでございます。

以上でございます。

○議長（石田久就君） 宮川正己君。

○4番（宮川正己君） いろんなご苦勞をされてるということはわかります。ただちょっともう一遍一、二点を、いずれにしても7億9,000万円という赤字が出てくるというようなお話でございました。担当されてる方々、先生方にすれば、ああ、予定よりかなり圧縮したという意識はあろうかと思いますが、赤字の額が、もらった貯金があるからいいようなものの、赤字は赤字でございますので、より縮減できるような方向、利益の上がる方向というものをぜひお考えをいただきたいというふうに思いますし、ご提案をいただければと

思います。

それともう一つ、やはりお医者さんが不足していると、前に道立病院から広域病院になったときから議論をしてご説明を受けてる中で、先生が1人常勤っていいですか、張りついていただけますと約2億円ぐらいの収入が見込めるのではないのかと。やっぱり先生がそろって患者が来てくれるというようなことが、いろんな事務的な経費もあると思いますけれども、そこに行き着くのではなからうかと思えます。これは1人紋別市だけの問題じゃなくて、日本全国的な問題であるし、市長さんも企業長をはじめそうですけれども、人脈をたどり、いろんなことをたどって、手繰ってやっていただいているわけですが、紋別市もよく努力しているようでありすけれども、なかなか現実的には厳しいということをお聞きしております。この、紋別市の今の状況っていいでしょうか、今年辞める先生方、企業長も退職なされるということで、長い間本当にご苦労さまでございました。そんなことで、常勤医の状況等も、これ中に書いてあったのかな、医師数書いてあると思います。非常勤が高い、こうやって入院がとれないというようなことでご説明もありましたけれども、その件の改善策というのは何か見えてることがありましたら、約束されてることというのも少ないんだと思うんですね。不安の中で皆さんも一生懸命とにかく何とかしなきゃ、充足しなきゃということで、日本全国アンテナをはりめぐらして頑張っておられると思うんですけれども、もしわかる範囲で今の構造的なことがわかれば、医師確保等に関連してお話をいただければと思います。

以上です。

○議長（石田久就君） 牧野事務局長。

○事務局長兼事務部長（牧野昌教君） 先ほどご説明した点ですが、やはり医師の確保、常勤医の確保というのが最大の赤字解消の効果があるということで、おっしゃるとおりでございます。ただ、なかなか日々ですね、企業長以下、医大、それからいろんな民間の紹介会社から様々な点で医師確保に努めているところでございますが、遠隔地ということがあって、本州からも病院には来てくれる先生何人かいらっしゃるんですけど、なかなか最後の決断がつかないというようなことで今のとこ来年補充される常勤医の見込みはございません。それで、どうしても、ただその中で赤字を放置しとくというのは、いずれ基金がなくなってしまうというようなことで、まずは我々ができる維持費の縮減といふところから始めさせていただいたところでございまして、決して常勤医、看護師の充足を諦めたわけではございませんので、引き続きさまざまな機会がありましたら常勤医の確保に努めてまいりたいと思っておりますし、紋別市長も病院と一緒に医育大学等を年に2回から3回、医師の確保にお願いに行ってもらっておりますので、今後とも引き続き一緒に行動をしていただきながら医師確保に努めてまいりたいと考えております。

以上です。

○議長（石田久就君） 宮川正己君。

○4番（宮川正己君） 最後ですけれども、さっき収入不足を補う方向で紋別市から理解を得て約1億円の補助金、不採算部門だと思っておりますけれども、これ紋別市立病院でないわけですから紋別市がたくさん持つということはおうちの市長がお約束をして町村的にはやっていることで、私どもも理解はしておりますが、ぜひ、広域病院でありますから、紋別市以外の町村にもこのような赤字というものを、病院を守っていくために必要なんだということはされてるのか、されてないのかと、紋別市だけなのかと、この1億円に関連するような費用の負担というもの。額は大小、紋別市が突出してるというようなことは、してもいいことはある程度理解をいたしますが、これ雄武町さん、興部町さん、それから西興部村さん、滝上町さんと、広域病院であ



りますから、その件の理解も深めていただいでみんなが一緒に努力をする、広域紋別病院のあるべき姿ではないのかというふうに思いますので、ぜひその辺の状況について支障がなければお知らせをし、もし可能でどういう状況になるのかわかればいいんですが、可能でないということであれば、ぜひ今後こういった理解を深めていただいで、お金お金じゃなくて知恵を出していただいで、ぜひいい病院になれるように努力をしていただければと思うわけでありますが、その辺についてお知らせをお願いできればと思います。

○議長（石田久就君） 牧野事務局長。

○事務局長兼事務部長（牧野昌教君） まず、紋別市の補助金の1億円のうち、約2,700万円については建設改良費に係る繰出基準というのが総務省から示されてございまして、そのうち今までは交付税算入分ですから大体22.5%ほどだったんですが、繰り出し基準は2分の1というような基準がございまして、今まで交付税分22.5%だったのを50%までもらって、その差額が2,700万円ほど、それが紋別市が負担すべきものでございます。そのほかにつきましては、やっぱり不採算の診療科の維持費というようなことが主な中身でございまして。それについては、大体概算で4億円程度ほどであると認識してございまして。そのうちの病院で努力して経費削減した分が大体7,000万円程度というようなことでございまして。これにつきましては、救急医療の分でこの広域紋別病院を設立したときに2次救急の部分については各市町村が負担し、その他の部分は紋別市というような約束があったかと聞いております。ただ、どちらにしましても、この病院でしかないような診療科、小児科ですとか、まあ産婦人科は分娩中止いたしました。健診等はしております。そういった部分を、果たして紋別市民だけの負担でいいのかというような部分も確かに議論としては当然発生してくるかと思いますので、そうしたところについてもこれ今後構成市町村の皆さんといろいろ話をさせていただきながら進めていきたいと、ご説明して理解を得ていきたいと考えてございまして。

以上です。

○議長（石田久就君） 以上で収入支出のうち、支出についての質疑を終結いたします。

次に、収入支出のうち、収入について質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

以上で質疑を終結いたします。

採決いたします。

議案第2号は原案のとおりご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

ご異議なしと認めます。よって、議案第2号は原案のとおり可決されました。

日程第5、議案第3号を議題といたします。

本案について提出者の説明を求めます。

千賀企業長。

○企業長（千賀孝治君） ただいま上程されました議案第3号広域紋別病院企業団企業長の給与及び旅費に関する条例の一部改正について提案理由のご説明を申し上げます。

本案は、企業長が広域紋別病院において医業を行う医師である場合、給料月額については、100万円を超えない範囲で定めることができる条項を追加するほか、単身赴任手当、宿日直手当については、広域紋別病院企業団職員の給与の種類及び基準に関する条例に準拠するため、所要の改正をしようとするものです。

以上で提案理由のご説明を終わりますので、ご審議いただきますようよろしくお願い申し上げます。

○議長（石田久就君） 質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑を終結いたします。

採決いたします。

議案第3号は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

ご異議なしと認めます。よって、議案第3号は原案のとおり可決されました。

日程第6、議案第4号を議題といたします。

本案について提出者の説明を求めます。

千賀企業長。

○企業長（千賀孝治君） ただいま上程されました議案第4号広域紋別病院企業団企業長の退職手当に関する条例の一部改正について提案理由のご説明を申し上げます。

本案は、広域紋別病院企業団企業長の給与及び旅費に関する条例の一部改正に伴い、退職手当の額を算定する条項について整理を行うため、所要の改正をしようとするものであります。

以上で提案理由のご説明を終わりますので、ご審議いただきますようよろしくお願い申し上げます。

○議長（石田久就君） 質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑を終結いたします。

採決いたします。

議案第4号は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

ご異議なしと認めます。よって、議案第4号は原案のとおり可決されました。

日程第7、議案第5号を議題といたします。

本案について提出者の説明を求めます。

千賀企業長。

○企業長（千賀孝治君） ただいま上程されました議案第5号広域紋別病院企業団職員の退職手当に関する条例の一部改正について提案理由のご説明を申し上げます。

本案は、地方自治法の一部を改正する法律の成立に伴い、地方独立行政法人法の一部が改正されたことから引用条項を整理するため、所要の改正をしようとするものであります。

以上で提案理由のご説明を終わりますので、ご審議いただきますようよろしくお願い申し上げます。

○議長（石田久就君） 質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑を終結いたします。

採決いたします。

議案第5号は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

ご異議なしと認めます。よって、議案第5号は原案のとおり可決されました。

以上をもって本定例会に付議されました案件は全部終了いたしました。

平成30年第1回広域紋別病院企業団議会定例会はこれをもって閉会いたします。

午前10時37分 閉会

以上、会議録の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

議 長

署 名 議 員

署 名 議 員